

おおさかの 住民と自治

2025. 3
(通巻第556号)

発行：
一般社団法人
大阪自治体問題研究所
(発行人：梶 哲教)
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15
大阪グリーン会館5F
TEL 06 (6354) 7220 FAX 06 (6354) 7228
<http://www.oskjichi.or.jp/>
定価200円(消費税含む)
会員は会費に含まれます

吹田市政研 2024

「豊かな公共・自治を育むまち」をテーマに

市民手づくりの研究集会

第42回吹田まちづくり・くらし・市政を考える研究集会（以下「吹田市政研2024」）の全体会と6つの地域別分散会が11月23日（土・祝）に大和大学で開催されました。さらに6つの分科会が別日程で土日を中心におこなわれ、1カ月にわたる取組が終わりました。

参加者は全体会が219人、分科会が最少39人、最多62人、延べ452人でした。初日、実行委員長の平岡つや子さん（吹田住民懇代表）は次のように開会挨拶しました。

「この市政研は、吹田住民団体交流懇談会（住民懇）と吹田市役所や関連職場で働く職員の労働組合、吹田市労働組合連合会と大阪自治体問題研究所の3つの団体が共催し、暮らしや地域、市政の課題をそれぞれの立場から共に考え、より



開会あいさつをする
平岡実行委員長

良い社会の実現に向けて共に歩みを進めようという、市民手づくりの研究集会として、毎年、

紅葉の季節に開催してきました」「本日、第42回を迎えました。第1回は1982年箕面勝尾寺で1泊2日の日程で、行政、市民、労働組合など多くの人たちが集い、夜を徹して交流し議論しあったことが懐かしく思い出されます」

「それから42年、今日まで困難な中にも諦めず、工夫し合い目標を見失わず引き継がれてきたことはまさに宝だと思えます。このような市民手づくりの集いが、今まさに必要とされ、今後ますます力をつけていくことが大事と感じる毎日です」

そして世界情勢や国政、府政に触れた後、「吹田ではというと、市役所の中では、市民と直結した窓口が次々民間委託となり、市民の声が届きにくくなり、ますます市役所は遠くなりつつあります。それでも吹田中の多くの地域で、いのち・暮らしを守る運動が日々くり広げられています。公園を守りたい、住環境を守りたい、医療を守りたい、子ども達を守りたい、高齢者を障害者を働く人たちを守りたいなど日々多くの住民が運動を繰り広げ、力を発揮しています。これらに学びながら、本当に住んでよかった吹田を実現させる知恵と力を身につけるために、この集会が意義ある会となることを願います」

全体会・6分散会・6分科会で 構成

全体会と分科会の概要を紹介します。

●全体会 11月23日（土・祝）午前

主催者挨拶

基調講演 豊かな公共・自治を育むまち

― 私たちがめざす明日の吹田

岩根 良さん（吹田自治都市研究所）

プレゼンテーション

私たちのまち吹田の変容

川渕政樹さん（プロジェクトチーム）

自治を育むまち吹田へ―市民の取組みと

願い

① 市民共同発電サンサンすいた―市民

が作る地域のコモン（井上道代さ

ん）

② 紫金山公園の魅力をさらに向上させ

る取組み（松木正さん）

③ 玉ノ井公園のみどりを守った住民懇

（森本将裕さん）

④ 映画「〇月〇日区長になる女」自主

上映会の取組み（松阪みつさん、ほ

か）

●6つの地域別分散会 全体会の同日午

後

●第1分科会「子どもの権利」をくらし

・市政に 12月1日（日）午前・午後

概要…日本は30年前に「子どもの権利条約」を批准しながら「こども基本法」の制定は一昨年。午前中は「子どもの権利ってなに？」を学び、午後は吹田市のこども計画と各施策を「子どもの権利」の視点で検証しました。

助言者…杉山隆一さん（大阪保育研究所）

／金 星姫さん（北大阪総合法律事務所）

●第2分科会 吹田市の課題を財政から

みてみよう 12月6日夜

概要…財政は市の姿を現す「鏡」。財政

分析を通じて市政の特徴や課題を浮き彫

りにしよう、実践レポートをもとに討

論しました。今後研究会を設け、持続的

な財政分析活動を進める予定です。

助言者…岩根 良さん（前出）

●第3分科会 北千里駅周辺の再開発と

まちづくり 12月8日（日）午後

概要…タワマンなど北千里駅周辺の再開

発が民間施行の市街地再開発事業として

進められています。助言者から、いま都

市計画・自治体政策に問われることをお

話していただき、住民主体のまちづくりを

考えました。北千里周辺から多くの住民

が参加されました。

助言者…中山 徹さん（自治体問題研究

所）

●第4分科会 社会保障としての国民健

康保険 12月14日（土）午後

概要…国民健康保険で府内保険料統一化

と窓口の業務委託が始まりました。保険

料は上がり、吹田独自の減免制度もなく

なり、保険料の差押えが急増していま

す。受診が遅れた事例も報告されまし

た。吹田社保協国保部会の活動再開を確

認しました。

助言者…寺内順子さん（大阪社会保障推

進協議会）

●第5分科会 民設・民営の中学校給食

ってどうなの？ 12月15日（日）午後

概要…吹田市は中学校給食を4年後に民

設民営のセンター方式で実施する計画で

す。民設民営の給食って大丈夫なのか？

センター方式から自校調理に切り替え

た吹田の小学校給食の歴史をふりかえ

り、堺、河内長野、池田、茨木など公設

民営の事例から学び、今後の課題を考え

ました。

●第6分科会 社会保障・社会福祉のあ

るべき姿 12月21日（土）午後

概要…講師から、戦後日本の社会保障の

流れと、すべての人たちの人権が保障さ

れる社会にむけ何が必要かを話してい

いただきました。そしてケア労働者を確保で

きないために事業そのものが困難になっ

ている医療・介護・障がい者の現状を出し

合い、吹田市の役割などを話し合いました。
助言者…長友薫輝さん（佛教大学）

住民自治をすすめる 重層的な取り組みの結節点

吹田市政研に向けた準備は、前年の市政研が終わるとともに始まります。5月には実行委員会で基調テーマ、基調講演の内容の議論を始めます。実行委員会では、毎回基調に関する学習と討論に多くの時間を当てています。基調講演は吹田



11月23日全体会の様子

市政研2019以来、岩根良さん（前出）にお願いしています。その積み重ねが市政の評価と課題について共通認識を広げ深めることにつながっています。新型コロナウイルスパンデミックの下でも、いのちとくらしを守る国・府・市の責任と役割を明らかにする大切な場となりました。

分科会の企画運営は課題別住民懇が担っています。第1分科会は「子ども子育て支援懇話会」、第4分科会は「社会福祉と反貧困懇話会」と「社会保障推進協議会国保部会」とのコラボ、第5分科会は「雇用と地域経済を考える懇話会」と「学校給食をよくする会」とのコラボ、第6分科会は「福祉・医療懇話会」が担当。

これら課題別住民懇と並行して大きな役割を果たしているのが6つの地域住民懇です。全体会午後の地域別分散会の運営、また第3分科会は千里ニュータウン地域住民懇が企画運営しました。

市政研・住民懇の担い手を紹介します。第一に自治体労働者・労働組合です。事務局を担っています。自治体労働者のなかで一般行政職員の参加が減り、会計年度任用職員等の比重が高まっています。このことは住民の生活実態・課題が市政に反映しにくくなっているといえます。

第二に社会福祉法人や医療法人等の事業所と労働者の比重が高まっています。ある社会福祉法人は吹田市政研を幹部職員の研修として位置づけ、ある社会福祉法人は幹部職員の役割分担のなかに住民懇担当を位置付けています。公務の民間化がすすむなかで社会福祉法人等の事業所、職員が公務労働、公共的労働を担っているといえます。

第三に住民運動団体・民主団体。新日本婦人の会が大きな役割を担っています。住民懇・市政研の課題を支部にとどめず会員活動の基礎である班の課題として提起し受け止められています。

第四に主権者である住民運動。保育、学童保育の保護者、障害当事者らの組織と運動は公共サービスの市場化・商品化と新型コロナウイルスパンデミックのなかで後退を余儀なくされました。しかし、いま再生の様々な工夫がなされています。そのなかで映画「〇月〇日区長になる女」の自主上映運動など、あたらしい市民運動も生まれています。

住民自治を増進する重層的な場の一つとして市政研、住民懇があるといえます。

（文責…木村雅英 吹田市政研実行委員会事務局長）